

## 令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考		
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等		
1	①	文化観光創出事業	H24 ～ R3	平成25年度に策定した「豊見城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、必要な施設等の設計や整備等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外トイレ施工監理、磁気探査業務、実施設計(ガスクゾーン)、埋蔵文化財発掘調査等(現地調査、自然科学分析)の完了</li> <li>・屋外トイレ建築工事、園路整備、法面対策工事の完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計(ガスクゾーン)、埋蔵文化財発掘調査等(現地調査、自然科学分析)の完了</li> <li>・屋外トイレ建築工事、園路整備、法面対策工事の完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【今後のスケジュール】</li> <li>・施設整備(R3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【R4成果目標】</li> <li>年間来場者数:2万人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【R4成果目標設定の考え方】</li> <li>類似観光施設の実績を参考に設定した。</li> </ul>
1	③	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ R3	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、市道植樹木の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽木の管理(除草清掃・防除工)</li> <li>・プランターの植栽管理(灌水)</li> </ul>	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【今後のスケジュール】</li> <li>植樹木の除草清掃、花木の植栽管理(灌水等)を継続して行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【R2成果目標設定の考え方】</li> <li>対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</li> </ul>	
1	④	与根地区観光交流施設整備事業	H27 ～ R2	観光客が気軽に参加できる海釣り体験機能や西海岸地区一体の観光情報を発信する機能を有する観光交流施設を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磁気探査業務、施工監理の実施</li> <li>・施設建設工事等の実施</li> <li>・備品購入業務の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磁気探査業務、施工監理の完了</li> <li>・施設建設工事等の完了</li> <li>・備品購入業務の完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【今後のスケジュール】</li> <li>R2:外構工事、駐車場工事、備品購入</li> <li>R3:供用開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【R3成果目標】</li> <li>①与根地区観光交流施設の来訪客のうち、西海岸の他地区(瀬長地区、豊崎地区)の観光施設を訪れた者の割合 〇% (供用開始前に目標値を設定する)</li> <li>②(来訪者アンケートによる)与根地区に対する認識の向上が図られた割合 80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【R3成果目標の考え方】</li> <li>①過去実績がない為、今年度アンケート調査を行い、設定する。</li> <li>②過去実績がない為、(来訪者アンケートによる)与根地区に対する認識の向上が図られた割合 80%以上とみなす。</li> </ul>
2	①	豊見城市優良母牛導入支援事業	H27 ～ R2	補助金により優良母牛の導入を促進し、畜産農家の生産基盤の確立及び経営の安定、農業振興を行う。	優良母牛導入に対する補助	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合(110%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【今後のスケジュール】</li> <li>優良母牛から生まれた子牛の価格とそうでない子牛との価格差の割合を一定以上にしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【R2成果目標設定の考え方】</li> <li>過去の実績を勘案して設定した。</li> </ul>	
2	②	豊見城市いきいき野菜生産支援事業	H24 ～ R2	市場や量販店の求める定時、定量、一定品質の野菜を安定生産するために、長雨や強風の影響を受けない耐候性野菜栽培施設を導入する。	耐候性野菜栽培施設導入に対する補助	耐候性野菜栽培施設導入の完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>【R3成果目標】</li> <li>野菜(葉野菜類)の反収(10aあたりの生産量)</li> <li>ホウレンソウ 1.1t/10a</li> <li>カラシナ 1.3t/10a</li> <li>チンゲンサイ 1.3t/10a</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【R3成果目標設定の考え方】</li> <li>沖縄県野菜栽培要領等を参考に設定した。</li> </ul>	

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
3	①	特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	H26 ～ R3	特別な支援を必要とする子の保護者や保育士を支援するため、臨床心理士の専門指導員を配置し、巡回相談・支援を行う。	臨床心理士配置:1名	臨床心理士への相談により育児や保育に関する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者・保育士へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き臨床心理士による、巡回・個別相談を実施し、対象児を抱える保護者や保育士等への支援を実施する。	【R2成果目標設定の考え方】 保護者や保育士の大多数が育児や保育に関する不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	②	放課後児童クラブ利用支援事業	R2 ～ R3	放課後児童クラブの利用者支援をすることで、子どもたちが育成支援体制の整った安心・安全な環境で過ごすことができるようになり、保護者の子育てへの負担感の軽減を図る。	ひとり親家庭等の児童クラブ利用者へ利用料を減免した児童クラブに対し、補助を行う。  対象人数:129人分	安心・安全に子どもを預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 利用者支援を行うことで、公的施設で活動している児童クラブとの格差是正並びに、保護者の負担軽減及び利用者の増加を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
4	①	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R3	小中学校において普通教室に通う特別に支援を要する児童生徒の教育活動の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、教育活動の充実を図る。	特別支援教育支援員の配置:30人 特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談、指導助言、面談等の実施	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 R3年度まで継続して支援員を配置し、支援対象児童生徒が十分な教育が受けられるようにする。	【R2成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が特別教育支援員の教育相談等の支援により教育活動の充実が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	②	学力向上サポート事業	H24 ～ R3	小中学校の教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	学力向上推進補助員を11人配置する。 小学校:8人 中学校:3人	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校:+2.6ポイント ②中学校:+1.0ポイント	【今後のスケジュール】 R3年度までに県平均正答率との差を、小学校において+2.6ポイント、中学校において+2.5ポイントを目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績値を参考に設定した。
4	③	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ R3	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境の改善を図り、児童相談所等関係機関とのネットワーク構築のため、スクールソーシャルワーカーを配置し、社会福祉の観点から支援を行う。	スクールソーシャルワーカーを3人配置する。市内小学校8校、中学校3校に対し巡回配置する。	支援対象ケース改善率:39.50% (改善ケース件数/支援対象ケース件数)	【今後のスケジュール】 R3年度まで継続してスクールソーシャルワーカーを配置し、関係機関との連携体制を構築・維持する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績値を参考に設定した。
4	④	不登校等対策支援事業	H24 ～ R3	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し、各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談等、適切な指導を行い学校復帰や社会的自立を支援する。	学習支援補助員配置:3人 (中学校:1人) (適応指導教室:2人) 登校支援員配置:8人	不登校児童生徒復帰率:20% (学校復帰人数/新規不登校者数)	【今後のスケジュール】 R3年度まで継続して支援員を配置し、学校復帰率30%を目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績値を参考に設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	⑤	英語教育推進事業	H25 ～ R3	国際化時代に対応できる人材育成を目的に、中学校へ外国人英語講師を配置し、小学校へ日本人英語講師を派遣する。	外国人英語講師(ALT)の配置:3人 日本人英語講師(JTE)の派遣:小学校8校	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合73%以上 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+4.2ポイント	【今後のスケジュール】 継続的に外国人英語講師の配置、日本人英語講師の派遣を行い、児童生徒の英語学習および国際理解の向上を図るとともに、令和3年度の県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+4.3ポイントを目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 小学校 対象者のうち大多数が英語に対する興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 中学校 過去の実績値を参考に設定した。
4	⑥	ICT教育推進事業	H24 ～ R3	わかりやすい授業によって教育の質の向上を図り、児童生徒の学力向上及び情報活用能力の育成を図るため、学校にICT機器を整備する。また、ICT機器を活用した授業を支援するため、情報教育指導補助員を派遣する。	情報教育指導補助員派遣:3人 電子黒板整備:15式 デジタル教科書整備:3校	①教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 ICT機器の整備及び情報教育指導補助員の派遣を継続し、R3年度のICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%を目指す。	【R2成果目標設定の考え方】 ①事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の教師へのアンケート調査を実施し、ICT機器等の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができたと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 ②事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の児童へのアンケート調査を実施し、授業がわかりやすくなったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
4	⑧	児童生徒派遣費補助事業(部活外)	H25 ～ R3	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の補助を行う。	児童生徒派遣費の一部を補助	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒及び保護者へアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 継続して児童生徒の派遣費の一部補助を行う。	【R2成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持たたかどうかを検証するにあたっては、当該児童にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。
5	①	文化財案内表示板設置事業	R1 ～ R2	市民等が文化財に訪れやすい環境を整備するため、文化財に至る案内表示板を設置する。	文化財案内表示板 設置30基	・「豊見城市文化財マップ」の年間アクセス数 25,550回/年 ・文化財巡り参加者 30名/年	【今後のスケジュール】 文化財巡りを開催し、文化財の周知を行うと同時に、文化財に対する市民の理解を深める。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R2活動目標(指標):令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R2成果目標(指標):令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	②	デジタル博物館事業	R2 ～ R3	歴史・文化に関わる資料の収集とデジタル化を行い、デジタルシステムに集約・整理・公開する。	収集アナログ写真資料のデジタル化作業 10万点 地域資料収集作業 7地域 収藏品写真撮影 1,050点	収集アナログ写真資料のデジタル化作業（10万点）、地域資料収集作業（7地域）、収藏品写真撮影（1,050点）の完了	<b>【今後のスケジュール】</b> R3 デジタル化作業 10万点 地域資料収集作業 8地域 収藏品撮影 1,050点 資料登録作業・公開	<b>【R2成果目標設定の考え方】</b> 収集・収集する資料量から勘案して設定した。
6	①	サッカーキャンプ誘致推進事業	R1 ～ R3	サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入環境を強化し、継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。	サッカーキャンプ受入に必要な芝生の維持管理及び草種変更	サッカーキャンプ誘致件数：2件/年	<b>【今後のスケジュール】</b> 令和5年度以降、指定管理制度導入による削減額を調査・検討し指標を設定する。	<b>【R2成果目標設定の考え方】</b> 他市町村のサッカーキャンプ受入状況を参考に設定した。
6	②	スポーツコンベンション拠点機能向上事業	R2 ～ R2	豊見城市民体育館にスポーツフロアシートを整備することにより、バレーボール、バドミントン等のナショナルチームレベルの合宿や国際連盟公認の試合開催が可能となる。また、それにより、国際大会及び継続的な合宿誘致を実現する。	プロスポーツ合宿や国際大会誘致に必要なスポーツフロアシートの整備	プロスポーツ合宿や国際大会誘致に必要なスポーツフロアシートの整備	<b>【今後のスケジュール】</b> 2024年デフバレー世界選手権の開催に向けて誘致活動を行う。 <b>【R3成果目標】</b> ・スポーツコンベンション誘致件数：3件/年	<b>【R3成果目標設定の考え方】</b> バレーボール合宿等の誘致による誘客を観光効果として検証を図ることから、今後の目標を設定した。

R2活動目標(指標)：令和2年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R2成果目標(指標)：令和2年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。